

現場に活かす！救急救命士国家試験問題

救急救命士を目指す者が挑む国家試験。その中でも救急隊員が活動する現場において知っておくべき知識や内容を紹介していきます。今月はGCS（グラスゴーコーマスケール）に関する問題です。JCSは馴染みがあると思いますが、救急隊員としてGCSについても理解し、活用できるようにしましょう。

第46回（令和5年3月）C問題

25歳の男性。作業中に約3mの高さから落ち、頭を強打したため、同僚が救急要請した。

救急隊到着時観察所見：呼吸数16/分。脈拍72/分、整。血圧102/60mmHg。SpO₂値96%。自発開眼している。名前、生年月日は言えるが、受傷の日時と場所は答えられない。離握手の指示に応じる。

この傷病者のGCSスコアの合計点はどれか。1つ選べ。

1. 15 2. 14 3. 13 4. 12 5. 11

ヒントレベル



GCS および JCS について

- GCSは意識レベルを開眼(E)、言語による応答(V)、運動による応答(M)の3要素で表現する方法である。それぞれの要素についてスコア(点数)をつけ、各要素のスコアの合計点で評価する。最低(深昏睡)は3、最高(意識清明)は15点である。客観性に優れていて諸外国では意識障害の評価法としてGCSが一般的に用いられている。
- JCS“0”はGCS合計点15に相当し、JCS“300”はGCS合計点3に相当する。GCSおよびJCSについては下記の表のとおりである。

グラスゴーコーマスケール (GCS)

大分類	小分類	スコア
開眼(E)	自発的に	4
	言葉により	3
	圧迫(痛み)刺激により	2
	開眼しない	1
言語による応答(V)	見当識あり	5
	錯乱状態	4
	不適当な言葉	3
	理解できない声	2
	発音がみられない	1
最良の運動による応答(M)	命令に従う	6
	圧迫(痛み)刺激部位に手足をもってくる	5
	四肢を屈曲する(逃避屈曲)	4
	四肢を屈曲する(異常屈曲)	3
	四肢伸展	2
	まったく動かさない	1

*何らかの理由で開眼できない場合

解答・解説

解答 2. 14

上記の表に沿って説明すると、自発開眼しておりE4、名前は答えられるが受傷日時と場所を答えられないことから錯乱状態としてV4、離握手で命令に従うことからM6で合計14点となります。

GCSはJCSに比べると使用頻度は少ないと思います。しかし、病院側から求められることもあります。救急隊員として意識障害の評価法は確実に理解し、正確に評価ができるようにしておきましょう。

(参考・引用 株式会社へるす出版「第46回 救急救命士国家試験問題 解答・解説集」)

和宗総本山 四天王寺

和宗総本山四天王寺は、日本書紀に推古天皇元年（593年）聖德太子が蘇我馬子と物部守屋が争った際、四天王の像を彫ったところ戦いに勝利し、四天王寺を建立したと伝えられています。昭和9年の室戸台風・昭和20年の大阪大空襲により和9年の室戸台風・昭和20年の大阪大空襲により多大な被害を被りましたが、多方面の人々の協力を得て復興され、現在の塔は8代目にあたります。年間を通して様々な行事・法事が執り行われますが、防火防災意識を高く持ち、安全に実施していただいている。また、天王寺自衛消防協



議会では会長職を務めていただき、消防署主催の消火技術発表会では常に優秀な成績を収められ、地域防災及び文化財防火の意識向上にご尽力していただいている。

自衛消防隊紹介

自衛消防隊長
吉田 明良

創建以来、多数の災害に見舞われました当山境内は信者の皆様の力で復興して参りました。皆様が安心して参詣出来る様、各種訓練を実施し防火防災意識の向上に努めています。



女性防火クラブだより

水上(港区)

水上女性防火クラブは、港区の築港地区の一連合町会からなっており、現在17名の会員で組織されています。小規模ながらも「災害に強いまち」を目指し活動しています。令和6年11月には京都府市民防災センターを訪れ、クラブ員全體の防災行動力の向上を図りました。

また、地域で実施されている福祉活動にも積極的に参画し、高齢者等の見守りを行うと共に、いざという時に助け合える、顔の見える関係づくりにも取り組んでいます。平成23年の東日本大震災や平成30年の台風21号上陸は記憶に新しいかと思われます。これらのことを見契機に、周囲が海



に囲まれた地形である築港地区は、津波や台風などの自然災害に対しても、住民同士の繋がりを大切にして、更なる地域防災意識を高く持ち、万が一の災害に備えて、避難場所や避難経路の確認等、家庭での準備を怠ることなく、住民同士の繋がりを持つっています。住民揃って防災に備えて、避難場所や避難経路の確認等、家庭での準備を怠ることなく、住民同士の繋がりを大切にして、更なる地域防災意識を高く持ち、万が一の災害に備えて、避難場所や避難経路

令和6年中の規制対象物における火災発生状況(1)

はじめに

予防課では、令和6年中に発生した建物火災のうち、消防法でいう消防設備等の設置又は防火管理について規制を受ける対象物（以下「規制対象物」という。）の火災発生状況を用途別、原因別に分析しました。その結果を3回にわたってお届けします。

大阪市内の火災概況

令和6年中に大阪市内で発生した火災全件の状況をみてみると、火災件数721件、焼損床面積5,193m²、損害額5億9,698万7千円でした。令和5年中に比べて火災件数は14件の増加、焼損床面積は1,985m²の減少、そして損害額は1億9,461万2千円の減少となりました。

次に火災の内訳についてみると、建物火災576件、車両火災47件、船舶火災1件、その他の火災95件、爆発火災2件でした。

火災による死者は、放火自殺者を除くと23人で

前年に比べて2人増加し、放火自殺者は3人で、前年に比べて1人減少しました。また、火災による負傷者は162人で、前年に比べて17人減少しています。

規制対象物の火災

令和6年中に発生した建物火災576件について、規制対象物に限定して火災状況をみると、規制対象物で発生した火災は435件で建物火災の75.5%に及びます。焼損床面積は1,843m²、損害額は2億1,335万2千円となっています。

前年に比べて、火災件数は5件の増加、焼損床面積は2,495m²の減少、そして損害額は9,819万1千円減少しています。

火災による死者は、放火自殺者を除くと13人で前年に比べて2人増加し、放火自殺者は1人となっています。また、火災による負傷者は111人で、前年に比べて11人減少している状況です。

次に規制対象物における火災の発生率をみると、休止休業中のものを除いた市内の規制対象物10万

5,055件のうち火災が発生した規制対象物は435件で全体の0.4%になります。

これらを消防法施行令別表第一に掲げる用途別の火災発生件数みると、共同住宅等(5)項目が191件と最も多く、次いで不特定多数の人が利用する複合用途防火対象物(16)項目が106件、

他の複合用途防火対象物(16)項目が43件、飲食店(3)項目が27件となっており、これらの用途だけで規制対象物火災全体の84.4%を占めています。(表1)

さらに、規制対象物における火災について、出火用途別(複合用途防火対象物においては、出火した部分の用途)の発生率をみると、共同住宅等(5)項目が236件で全体の54.3%、飲食店(3)項目が71件で(16・3%)、事務所等(15)項目が31件(7・1%)となっています(それぞれ(16)項目に含まれる件数を含む)。(図1)

なお、複合用途防火対象物(16)項目で発生した火災149件の出火した部分の用途を件数の多い順にみると、共同住宅等(5)項目部分から出火した火災が45件、飲食店(3)項目が44件、事務所等(15)項目が14件となっています。

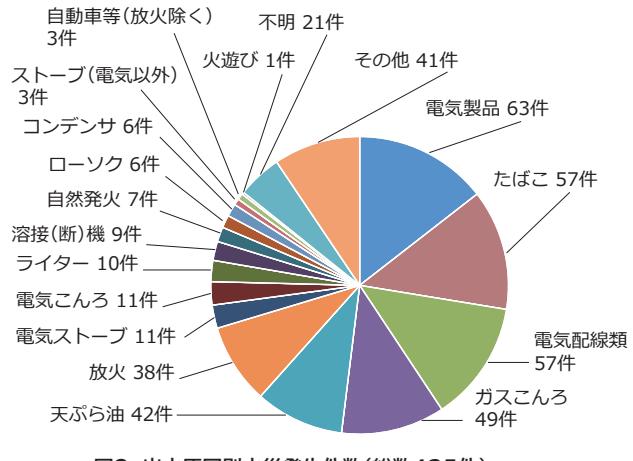
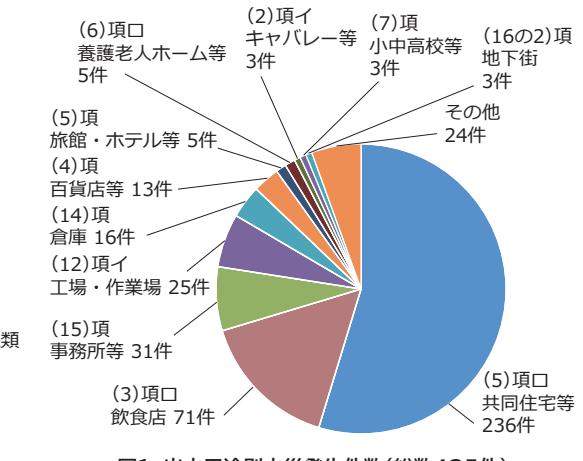
規制対象物における火災435件を出火原因別でみると、電気製品が63件(14.5%)、たばこが57件(13.1%)、電気配線類が57件(13.1%)、ガスこんろが49件(11.3%)、てんぷら油が42件(9.7%)となっています。(図2)

■出火用途別にみた規制対象物の火災

次に規制対象物における火災の発生率をみると、休止休業中のものを除いた市内の規制対象物10万

表1 令別表第一(用途別)火災発生件数(比率は、小数点第二位を四捨五入)

令別表	用途	件数	比率(%)
(1) 項 イ	劇場・映画	1	0.2
口	公会堂・集会場	-	-
(2) 項 イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ等	-	-
口	遊技場・ダンスホール	1	0.2
ハ	性風俗関連施設	-	-
二	カラオケ・個室ビデオ等	-	-
(3) 項 イ	待合・料理店等	-	-
口	飲食店	27	6.2
(4) 項	百貨店・マーケット等	4	0.9
(5) 項 イ	旅館・ホテル等	5	1.1
口	共同住宅等	191	43.9
イ	病院・診療所等	1	0.2
口	養護老人ホーム・老人短期入所施設等	2	0.5
ハ	老人デイサービスセンター・児童養護施設等	2	0.5
二	幼稚園・特別支援学校	2	0.5
(7) 項	小中局校・大学校等	3	0.7
合計		435	100.0



おわりに

令和6年中の規制対象物における火災のうち、半数以上を「共同住宅等」が占めています。また、出火原因の1位が「電気製品」となったこともその特徴です。近年、電気関係の火災の割合が増加していることから「電気製品」や「電気配線類」の取り扱いの注意喚起を行うなど、引き続き市民に対する火災広報や火災予防対策を推進していく必要があります。

次号では、火災発生時における避難、防火管理者の選任状況、初期消火活動の状況等について取り上げる予定です。

令和6年中の規制対象物における火災のうち、半数以上を「共同住宅等」が占めています。また、出火原因の1位が「電気製品」となったこともその特徴です。近年、電気関係の火災の割合が増加していることから「電気製品」や「電気配線類」の取り扱いの注意喚起を行うなど、引き続き市民に対する火災広報や火災予防対策を推進していく必要があります。

表彰 令和7年6月18日付け

救急活動(賞与)

東成消防署 救急活動(賞与)

1部 深江小型タンク小隊	消防司令補 西村 敏
消防士長 登城 弘之	消防司令補 萩原 淳二
消防士長 藤本 淳	消防士長 梅田 玲央
消防士 羽里 洋祐	消防士 宇田 武史

令和7年1月27日、東成区のスボーツジムで発生した救急事案において、現場到着時、バイスタンダーが傷病者に対し胸骨圧迫を実施しており、傷病者を観察した結果、傷病者がC.P.Aであることを確認したため、直ちに除細動パッドを貼付し心電図を解析した。除細動の適応であったため除細動を実施し、C.P.Rを開始した。計2回の除細動を実施し、C.P.Rを継続したところ、救急隊到着前に傷病者に自己心拍及び自発呼吸が出現した。これら一連の活動により、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

救急活動(賞与)

火災防ぎよ活動(賞与)

2部 勝山小型タンク小隊	消防司令 西井 裕人
消防士長 萩原 淳二	消防士長 梅田 玲央
消防士 宇田 武史	消防士 宇田 武史

令和7年2月1日、生野区の住宅で発生した火災現場において、灾害点の南側の消火栓に部署した。特定密集地域であり、ホース延長経路が非常に少ない中、出火建物の南側に隣接している建物の室内及び出火建物の東側に隣接する建物の室内においてホース延長し、迅速に1線2口の放水体制を確立した。その後、出火建物の南側にあるトタン壁をとび口及び徒手により破壊し、出火建物内部へ進入後、放水し、主火力を制圧した。これら一連の活動により、被害の拡大を最小限に抑え、市民の負託に応えた功績による。

救急活動(賞与)

火災現場における救助活動(賞与)

住吉消防署 2部 刘田救急隊	消防司令補 増田 龍一
消防士長 山崎 弘之	消防士長 山崎 弘之
消防士 砂川 光	消防士 砂川 光

令和7年2月9日、東住吉区の福祉施設で発生した救急事案において、先着の救命連携活動隊が、傷病者に対し既にC.P.Rを実施しており、傷病者がC.P.Aであること及び喉詰めによるC.P.Aの可能性があることを確認した。自隊の自動体外式除細動器を装着し、C.P.Rを実施するとともに、マギール鉗子及び吸引器を用いて異物除去を実施したところ、傷病者に自己心拍が出現した。しかし呼吸は停止したままであつたため、食道閉鎖式エアウエイによる気道確保及び静脈路確保を実施した。その後、救急車内において、傷病者に自発呼吸が出現したため、補助呼吸を継続し、傷病者の容体管理に細心の注意を払いつつ早期搬送に努め、適切に傷病者を医師に引き継ぎ、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

救急活動(賞与)

火災現場における救助活動(賞与)

1部 深江小型タンク小隊	消防司令補 小西 勇介
消防士長 出口 慎也	消防士長 出口 慎也
消防士長 嶋峨 慶彦	消防士長 嶋峨 慶彦
消防士長 山川 秀平	消防士長 山川 秀平

令和7年3月19日、西成区の共同住宅で発生した火災現場において、現場到着時、1階の発災号室から黒煙が噴出している状況であった。施錠されていた発災号室の玄関扉をエンジンカッターを用いて開放し、確保ロープを設定し、消防隊の援護注水体制確立後、屋内進入し、要救助者の検索を開始した。熱画像直視装置を用いて壁沿いに検索を行つたところ、仰臥位で意識を失っている要救助者を発見したため、レスクマスクを装着し、かかえ搬送により要救助者を迅速に屋外へ救出した功績による。

表彰

火災現場における救助活動(賞与)

2部 生野消防署	消防司令補 西村 敏
消防士長 登城 弘之	消防士長 登城 弘之
消防士長 藤本 淳	消防士長 藤本 淳
消防士 羽里 洋祐	消防士 羽里 洋祐

令和7年1月27日、東成区のスボーツジムで発生した救急事案において、現場到着時、バイスタンダーが傷病者に対し胸骨圧迫を実施しており、傷病者を観察した結果、傷病者がC.P.Aであることを確認したため、直ちに除細動パッドを貼付し心電図を解析した。除細動の適応であったため除細動を実施し、C.P.Rを開始した。計2回の除細動を実施し、C.P.Rを継続したところ、救急隊到着前に傷病者に自己心拍及び自発呼吸が出現した。これら一連の活動により、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

救急活動(賞与)

火災現場における救助活動(賞与)

1部 西成消防署	消防司令補 小寺 雄大
消防士長 消防士長 毅	消防士長 消防士長 毅
消防士長 (現・淀川消防署) 平田 雄司	消防士長 (現・淀川消防署) 平田 雄司
消防士 现・正消防署 今村 美有	消防士 现・正消防署 今村 美有

令和7年3月19日、西成区の共同住宅で発生した火災現場において、現場到着後、先着救助隊長から筒先配備の要請があつたため、1階の発災号室へ迅速にホース延長を実施した。発災号室前において、援護注水体制確立後、救助隊とともに屋内進入し、要救助者の検索を開始した。充満する黒煙を乱さぬよう放水を控え燃焼状況の急変に備えつつ検索を実施したところ、仰臥位で意識を失っている要救助者を発見したため、救助隊と協力し、かかえ搬送により要救助者を迅速に屋外へ救出した功績による。

表彰

火災現場における救助活動(賞与)

2部 西成消防署	消防司令補 小寺 雄大
消防士長 登城 弘之	消防士長 登城 弘之
消防士長 藤本 淳	消防士長 藤本 淳
消防士 羽里 洋祐	消防士 羽里 洋祐

令和7年1月27日、東成区のスボーツジムで発生した救急事案において、現場到着時、バイスタンダーが傷病者に対し胸骨圧迫を実施しており、傷病者を観察した結果、傷病者がC.P.Aであることを確認したため、直ちに除細動パッドを貼付し心電図を解析した。除細動の適応であったため除細動を実施し、C.P.Rを開始した。計2回の除細動を実施し、C.P.Rを継続したところ、救急隊到着前に傷病者に自己心拍及び自発呼吸が出現した。これら一連の活動により、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

救急活動(賞与)

火災現場における救助活動(賞与)

1部 西成消防署	消防司令補 小寺 雄大
消防士長 消防士長 毅	消防士長 消防士長 毅
消防士長 (現・淀川消防署) 平田 雄司	消防士長 (現・淀川消防署) 平田 雄司
消防士 现・正消防署 今村 美有	消防士 现・正消防署 今村 美有

令和7年3月19日、西成区の共同住宅で発生した火災現場において、現場到着後、先着救助隊長から筒先配備の要請があつたため、1階の発災号室へ迅速にホース延長を実施した。発災号室前において、援護注水体制確立後、救助隊とともに屋内进入し、要救助者の検索を開始した。充満する黒煙を乱さぬよう放水を控え燃焼状況の急変に備えつつ検索を実施したところ、仰臥位で意識を失っている要救助者を発見したため、救助隊と協力し、かかえ搬送により要救助者を迅速に屋外へ救出した功績による。

表彰

火災現場における救助活動(賞与)

2部 生野消防署	消防司令補 西村 敏
消防士長 登城 弘之	消防士長 登城 弘之
消防士長 藤本 淳	消防士長 藤本 淳
消防士 羽里 洋祐	消防士 羽里 洋祐

令和7年1月27日、東成区のスボーツジムで発生した救急事案において、現場到着時、バイスタンダーが傷病者に対し胸骨圧迫を実施しており、傷病者を観察した結果、傷病者がC.P.Aであることを確認したため、直ちに除細動パッドを貼付し心電図を解析した。除細動の適応であったため除細動を実施し、C.P.Rを開始した。計2回の除細動を実施し、C.P.Rを継続したところ、救急隊到着前に傷病者に自己心拍及び自発呼吸が出現した。これら一連の活動により、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

救急活動(賞与)

火災現場における救助活動(賞与)

1部 西成消防署	消防司令補 小寺 雄大
消防士長 登城 弘之	消防士長 登城 弘之
消防士長 藤本 淳	消防士長 藤本 淳
消防士 羽里 洋祐	消防士 羽里 洋祐

令和7年3月19日、西成区の共同住宅で発生した火災現場において、現場到着後、先着救助隊長から筒先配備の要請があつたため、1階の発災号室へ迅速にホース延長を実施した。発災号室前において、援護注水体制確立後、救助隊とともに屋内进入し、要救助者の検索を開始した。充満する黒煙を乱さぬよう放水を控え燃焼状況の急変に備えつつ検索を実施したところ、仰臥位で意識を失っている要救助者を発見したため、救助隊と協力し、かかえ搬送により要救助者を迅速に屋外へ救出した功績による。

表彰

火災現場における救助活動(賞与)

2部 西成消防署	消防司令補 小寺 雄大
消防士長 登城 弘之	消防士長 登城 弘之
消防士長 藤本 淳	消防士長 藤本 淳
消防士 羽里 洋祐	消防士 羽里 洋祐

令和7年1月27日、東成区のスボーツジムで発生した救急事案において、現場到着時、バイスタンダーが傷病者に対し胸骨圧迫を実施しており、傷病者を観察した結果、傷病者がC.P.Aであることを確認したため、直ちに除細動パッドを貼付し心電図を解析した。除細動の適応であったため除細動を実施し、C.P.Rを開始した。計2回の除細動を実施し、C.P.Rを継続したところ、救急隊到着前に傷病者に自己心拍及び自発呼吸が出現した。これら一連の活動により、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

救急活動(賞与)

火災現場における救助活動(賞与)

1部 西成消防署	消防司令補 小寺 雄大
消防士長 登城 弘之	消防士長 登城 弘之
消防士長 藤本 淳	消防士長 藤本 淳
消防士 羽里 洋祐	消防士 羽里 洋祐

令和7年3月19日、西成区の共同住宅で発生した火災現場において、現場到着後、先着救助隊長から筒先配備の要請があつたため、1階の発災号室へ迅速にホース延長を実施した。発災号室前において、援護注水体制確立後、救助隊とともに屋内进入し、要救助者の検索を開始した。充満する黒煙を乱さぬよう放水を控え燃焼状況の急変に備えつつ検索を実施したところ、仰臥位で意識を失っている要救助者を発見したため、救助隊と協力し、かかえ搬送により要救助者を迅速に屋外へ救出した功績による。

表彰

火災現場における救助活動(賞与)

2部 西成消防署	消防司令補 小寺 雄大
消防士長 登城 弘之	消防士長 登城 弘之
消防士長 藤本 淳	消防士長 登城 弘之
消防士 羽里 洋祐	消防士 羽里 洋祐

令和7年1月27日、東成区のスボーツジムで発生した救急事案において、現場到着時、バイスタンダーが傷病者に対し胸骨圧迫を実施しており、傷病者を観察した結果、傷病者がC.P.Aであることを確認したため、直ちに除細動パッドを貼付し心電図を解析した。除細動の適応であったため除細動を実施し、C.P.Rを開始した。計2回の除細動を実施し、C.P.Rを継続したところ、救急隊到着前に傷病者に自己心拍及び自発呼吸が出現した。これら一連の活動により、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

救急活動(賞与)

火災現場における救助活動(賞与)

1部 西成消防署	消防司令補 小寺 雄大
消防士長 登城 弘之	消防士長 登城 弘之
消防士長 藤本 淳	消防士長 登城 弘之

火災防ぎよ活動(賞与)

平野消防署

2部

平野小型タンク小隊

消防司令	下川 浩史
消防士長	永岡 涼
消防士	仲野 凌世
	山田 聖也

東住吉消防署	1部
消防司令補	河中 良太
	高田 光生

非番日等における救急活動(賞与)

東住吉消防署

1部 警防担当

令和7年4月14日、東住吉区の
路上において、倒れている傷病者
と119番通報をしている通行人

令和7年4月13日、平野区の作業場で発生した火災現場において、災害点の北側約200メートルの消火栓に部署後ホース延長を実施した。出火建物の北東において、1線2口の放水体制を確立し、東側建物及び北側建物の延焼阻止の放水を実施した。その後、出火建物の2階へ放水し、最終的には、出火建物の1階へ屋内進入し放水を実施した。これら一連の活動により、被害の拡大を最小限に抑え、市民の負託に応えた功績による。

令和7年4月14日、東住吉区の場所へ移動させ、観察したところ、傷病者がC.P.Aであることを確認した。直ちに2人が協力して胸骨圧迫及び携帯していたポケットマスクを用いて人工呼吸を実施し、警察官が搬送してきた自動体外式除細動器を傷病者に装着し解析したところ、除細動の適応であったため、除細動を実施し、C.P.Rを継続した。計2回の除細動を実施し、C.P.Rを継続したところ、救命連携活動隊が到着したため、傷病者の状況を正確に伝え、円滑に引き継いだ。なお、その後、現場において、傷病者に自発呼吸が出た。これら一連の活動により、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。
--



※事案発生日の階級

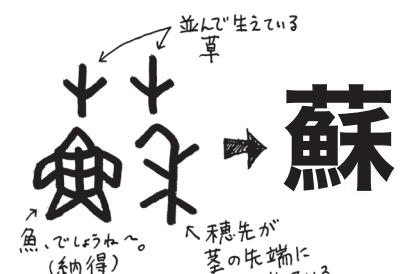
消防漢字ガール

Fire Fighter Kanji Girl

国立大学文学部卒で大阪市内の某消防署に勤務する、漢字を愛してやまない消防女子「淀橋文子」が防火防災に関する「漢字」の意味や成り立ちを解説する「消防漢字ガール」。さて、今月の漢字は…。

【蘇】

意味:よみがえる。復活する。生きかえる。
古いものを新しくする。再び現れる。



アプリをダウンロード
できる二次元コード

今月の漢字は心肺蘇生法の「蘇」です。成り立ちとしては、「蘇」の部分は「魚」と「穂先が垂れている稻」の象形でできています。この文字だけでも「よみがえる」という意味を持つそうなんですが、魚と稻というまったく関係のない物を並べることで、「全く関係がないこと・隙間があいていること・別々に分ける」という意味になるそうです。(このあたり、わたしもよく解りません...)さらに、この「蘇」にくさかんむり(草冠)の「艸」が付いて、「葉と葉の間にすきまがある植物」、転じて「喉に隙間があいて詰まっていた息が通る=息を吹き返す」、つまり「よみがえる」という意味になるんだとか。

音読みは「ス」、「ソ」、訓読みは「よみがえ(る)」、画数は「19画」で部首は「くさかんむり(草冠)」です。

*訓読み⇒()の中は「送りがな」

さて、「蘇」の解説を終えたところで「救命講習」のご案内です。

私たちは、いつ、どこで、突然のけがや病気におそれるかわかりません。健康そうに見ていた人が、ある日突然、急死してしまうこともあります。日本では年間約7万人以上の人人が「心臓突然死」により亡くなっています。救命のためには、事故の場合は事故直後、急病の場合は発病直後の早い段階で適切な応急手当が行われることが重要ですが、もしも、目の前で倒れた人に遭遇したら…。

一刻を争う「命」を救うために必要なのは、専門的な知識や高度な技術ではなく、あなたの「勇気」です。その勇気をサポートするのが、「救命サポートアプリ」です!

「救命サポートアプリ」は、もしもの時に応急手当の手順を動画で見ることができるアプリです。是非、インストールしてくださいね。

ということで、今月はこれでおしまい。じゃあねー。

【今月の警防担当司令の迷言】

「畠中君、前から思うてんけど、シュッとしてるよなあ。」「えっ?」「いや、シュッとして男前やいうこっちゃ。」「あ、はい。ありがとうございます、、あの~、シュッとしてるっていうのは香水かなんかのことですか?僕、何もつけてませんけど。」(畠中君。最近、司令は娘さんの結婚相手探してるみたいやで~。)



救急安心センターおおさか だより

秋の快適レジャー♪ キャンプで注意！ 食中毒対策



9月は夏の厳しい暑さが和らぎはじめ、過ごしやすい気候となり、キャンプに出かける方もおられると思います。そこで注意していただきたいことが食中毒です。今回はキャンプでの代表的な食中毒対策を紹介します。

食中毒を防ぐために最も重要なのは、食材の保存方法です。夏ほどではないにしても9月もまだ気温が高いので、特に生肉や魚介類は冷蔵・冷凍保存し、適温を保つようにしましょう。また、食材は清潔な手で取り扱い、生肉は専用器具で管理し、調理時は十分に加熱しましょう。その他にも使用した食器や調理器具は早めに洗浄して衛生的な環境を保ちましょう。

もし、食中毒の症状（腹痛、下痢、吐き気、嘔吐、発熱など）が現れた場合、速やかに医療機関を受診するとともに、次のような対応をしましょう。

① 水分補給を徹底する

吐き気や下痢がある際は脱水症状が心配されますので、水分補給をしてください。

② 安静にする

消化器官が炎症を起こしている可能性がありますので、体をあまり動かさずに休息を取りましょう。

食中毒が疑われる症状で、「救急車を呼んだほうがいい?」「近くの救急病院はどこ?」「応急手当の方法は?」など、悩んだときは、救急安心センターおおさかをご利用ください。また緊急度の判定は、総務省消防庁の全国版救急受診アプリ（Q助）でも判定することができ、近くの病院・診療所をお探しの場合は、厚生労働省の医療情報ネット（ナビイ）でも検索できますので合わせてご活用ください。



全国版救急受診アプリ
総務省消防庁

緊急度判定



医療情報ネット
厚生労働省

病院案内

救急安心センター着信件数（令和7年7月）

令和7年7月の着信件数 (1日あたりの件数)	29790件 (約961件)
対前年同月比	2517件減少



Facebook



X
(旧:Twitter)



Instagram



YouTube



編集後記



表紙のウラ側



万博でしか見ることのできない3台の共演。

特に軽EV 救急車は大きなスター・オブ・ライフのマークが斬新でカッコイイですね！

9月、お月見どろぼうなんて風習も地域によってはあるよう。今までいうハロウィンに似た文化です。かつて団子を作りすぎた私は、近所に住むインド人家族におすそ分けをしました。後日、カレーのルーとなって返ってきたのはいい思い出です。

また9月は「防災月間」もあります。備蓄品のほか、身近な人との日頃のやりとりを見つめなおす良いきっかけかもしれませんね。（M）